

まちづくり提言の公表（令和４年10月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
清流錦川の遊覧船運航について	鹿野の発展、観光振興のため、錦川に遊覧船を運航してはいかがでしょうか。鹿野は山と川しかない地形です。錦川の流れが弱く穏やかな箇所や岩が少ない箇所、川幅が広めの箇所等活用した遊覧船の運航を提案します。 鹿野の錦川は溪流で岩場が多いので、観光のため、岩場を削ってでも行えませんか。遊覧船運行会社は、近隣にいくつか存在します。周南市は田園都市でありながら水上リゾートが盛んな外国の都市と姉妹提携しているので、知恵を借りることも十分な交流になると思います。 春は桜、夏は涼、秋は紅葉を楽しむことができます。小鳥の声に癒される「癒しの遊覧船」だと思えます。もし、夜間の運航をする場合は、川岸の桜や紅葉等をライトアップするといいと思います。最近はソーラーでライトアップできる光源もありますので、設置費用は発生しますがランニングコストは発生しません。 川に乗降場所を建設する必要がありますが、鹿野は広い土地もあり、駐車場や乗降場所付近のフードショップ・カフェもあわせて建設し、乗降時に持ち込む菓子・飲料などを販売したり、乗降前後に食事の提供をしたりしてもいいと思います。地方創生金の使い道としてぜひ御検討ください。	鹿野総合支所は、老朽化が進んだことから建て替えが検討され、人口減少が続く鹿野地域の数世代先の姿を想定して、移転が持続可能な地域づくりに役立つよう、旧鹿野公民館を解体し、その跡地へ移転することとしております。 また、現在の総合支所の周辺は、漢陽寺、清流通り、天神山公園などの豊かな地域資源があることから、立地を生かした観光交流拠点として整備することとし、鹿野の今後の観光に関する施策の方向性や観光交流拠点のあるべき姿を描くために、鹿野地域観光振興プランを令和４年３月に策定いたしました。 このプランでは、「日常をときほぐす観光事業」を展開するソフト事業、観光交流拠点の整備や既存観光施設との連携、景観や環境への配慮などを展開するハード事業を主な取り組みとしており、プランの中にも河川や溪谷を地域資源の一つとして取り上げています。 今回ご提案いただきました遊覧船の運航につきましても、鹿野地域全体の観光振興を検討していく中で、今後の研究課題とさせていただきたいと思えます。	観光交流課、鹿野地域政策課
八代のナベツル	今年も周南市にナベツルがやって来る時季になりました。昨年は26羽という最近にない多くの飛来数でした。今年は何羽飛来してくるか大人も子どもも楽しみにしています。「以前は観光バスが来て、たいへん賑やかだった。今は観光バスが来なくなり、寂しくなった」と何人もの人から聞きます。今でも観光バス専用の駐車場が残っています。 そこをお願いします。近くの観光バス会社に「八代に第一陣のツルが３羽来ています、近隣に観光に来られた時には立ち寄ってください」等、宣伝してはどうでしょうか。可能であれば観光会社まで出向いて宣伝することもできます。本州唯一のナベツルの渡来地を強調して熱く語るのです。八代を活気づけましょう。周南市が元気になりますよ。	特別天然記念物にも指定されております、八代のツルおよびその渡来地につきましては、昨年最大28羽という近年にない多くの渡来があり、新型コロナウイルス感染症の暗いニュースが連日報道されるなか、大変明るい話題となりました。今年も、もう少しで渡来の一報が入ってくる時期となりましたが、地域の皆さんをはじめ、地域の子どもたち、多くの方々が昨年を上回る多くの渡来を期待されていることと思えます。 本市では、初渡来があった第一報から、全てのナベツルが北帰行するまでの情報を、市ホームページやSNSなど通じて随時発信を行っており、併せて報道関係者にも情報提供を行うことで新聞やテレビなどでも取り上げられるなど、県内以外に向けた積極的な情報発信を行っております。また、毎年、近隣の旅行会社からもナベツルの渡来情報について、お問い合わせをいただいているところです。 今後につきましても、本州唯一の渡来地、八代のナベツルを幅広く皆様に知っていただくために、引き続き効果的な情報発信をしていくとともに、旅行会社等からの問い合わせがあった際には、鑑賞のマナーをお伝えしたうえで、現地へ足を運んでいただくよう宣伝してまいりたいと考えております。	観光交流課
徳山駅前の送迎スペースの件	以前、徳山駅前の送迎スペースに駐車する人が多い件についてご連絡したところ、その後早急に駐車禁止を示す看板のようなものを設置してくださり感謝しています。 しかし、その後も変わらず送迎スペースは運転席から離れて放置された車で常に埋まっており、残念ながらほとんど状況は改善されていません。図書館等を利用して施設に長時間滞在した際に送迎スペースの様子を観察してみました。が、１時間以上平気で駐車している車もあり、駅西駐車場の料金逃れをしたいだけなのではと疑ってしまいます。 送迎スペースを改修して、一定時間を超えると車止めが跳ね上がる機械を導入するとか、コンビニにあるような長時間の駐車を検知して警告する機械を置く等の対策をしてほしいです。お金がかかって実現できないのであれば、せめて警察と連携して駐禁の切符を切ったり、ワイパーに警告の紙を挟み込んだりするなど、即効性のある対応をお願いしたいです。既に警告などの対応はされているのでしょうか。少なくとも私は一度も見かけたことがありません。モラルのない人ばかり便利な思いをして、本来の目的である送迎に使いたい人が不便を強いられるのは馬鹿げていると思います。	徳山駅前の一般車乗降場（送迎場）のご利用につきまして、日頃よりご不便をおかけして申し訳ございません。市といたしましても、一般車乗降場（送迎場）の迷惑駐車には大変憂慮しており、これまでも駐車禁止の看板を立てたり、車のワイパーに警告用紙を挟み込んだりするなどの対策を講じてまいりました。 しかしながら、ご指摘のとおり迷惑駐車が後を絶たない状況であることから、令和４年７月から施行した「周南市徳山駅前広場等条例」において、一般車乗降場（送迎場）に駐車する行為を明確に禁止行為として決めました。 今後は警察等と連携して、迷惑駐車の解消やドライバーのモラル向上に努めてまいります。	中心市街地活性化推進課